



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立新札幌わかば小学校

読書センターとしての機能

■朝の読み聞かせと昼のよむよむタイム

P T A一家庭一役の保護者、図書ボランティアの方に各教室で書画カメラを用いた朝の読み聞かせをしていただいています。また、年に数回、昼休みにも開放図書館司書、図書ボランティアの方々による工夫を凝らした読み聞かせを行い、子どもたちにとって、とても楽しいひとときとなっています。

■図書委員会の企画で広がる読書の世界

図書委員会では、スタンプラリーを企画しました。ジャンル別のスタンプを5つためると図書委員お手製の「しおり」がもらえます。ジャンル別にすることで色々なジャンルの本を読む機会ができ、読書の幅が広がりました。

■1年生図書指導

毎年、開放司書、ボランティアの方に協力いただき、新入生歓迎会として1年生を対象にした図書指導を行っています。図書館の利用の仕方を楽しく学び、保護者の方にも参加していただくことで、親子で読書を楽しむきっかけづくりにもなっています。

学習センターとしての機能

■本とつながり自分の考えを広げる

6年生は、「私と本」の単元でブックトークをしました。初めに、本から考えを広げたことについて振り返り、テーマを決めます。そのテーマに沿ってブックトークをするための本を選びました。図書室は、1つのテーマで複数の本を選んで読むことができる環境が整っています。

スライドを使ってブックトークの準備をし、学級で聞き合いました。自分と本をつなげて考えを広げると同時に、読書が自分の考えを広げることに役立つことを実感することができました。

情報センターとしての機能

■「もっと知りたい」を支える図書室

どの学年も、様々な教科や総合的な学習の時間で調べ学習を行います。調べたいことに合った本を探すために、開放司書やボランティアの助言を聞くこともでき、問題解決の支援を行う場になっています。

また、カウンター横には、新刊コーナーや教科書に掲載されている本などのコーナーを設置し、子どもたちの興味に合った本との出会いや必要な情報の収集に役立っています。